

第48回沖縄県高等学校総合文化祭放送部門
第46回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会沖縄県大会

開 催 要 項

- 1 名 称 第48回沖縄県高等学校総合文化祭放送部門
第46回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会沖縄県大会
- 2 期 日 令和6年11月5日（火） ・ 11月6日（水）
- 3 場 所 沖縄県男女共同参画センターているる
- 4 主 催 沖縄県高等学校文化連盟 NHK沖縄放送局
共 催 沖縄県教育委員会
後 援 沖縄市教育委員会 那覇市教育委員会 浦添市教育委員会 うるま市教育委員会
糸満市教育委員会 嘉手納町教育委員会 沖縄県高等学校PTA連合会
琉球新報社 沖縄タイムス社
琉球放送株式会社 沖縄テレビ株式会社 琉球朝日放送株式会社
沖縄ケーブルネットワーク株式会社 株式会社ラジオ沖縄 株式会社エフエム沖縄
主 管 沖縄県高等学校文化連盟放送専門部
- 5 参加条件 令和6年10月現在、沖縄県高等学校文化連盟に加盟の高等学校と特別支援学校の高等部に在学する生徒およびその作品であること。ただし最終学年を除く。
- 6 部 門 (1) アナウンス (2) 朗読 (3) ラジオ番組 (4) テレビ番組 (5) 短編動画祭
- 7 表 彰
アナウンス部門・朗読部門 最優秀賞1 優秀賞7 優良賞4～6
ラジオ番組部門・テレビ番組部門 最優秀賞1 優秀賞3 優良賞3
短編動画祭 最優秀賞1 優秀賞2 優良賞1～
- 8 推 薦 第46回九州高校放送コンテスト福岡大会への派遣推薦は各部門とも、最優秀賞・優秀賞を受賞した生徒・作品とする。
※短編動画祭を除く
- 9 運 営 第46回九州高校放送コンテスト沖縄県大会運営委員会

10 日 程	専門委員会	8月31日(土)
	大会要項発送	9月 4日(水)
	大会申込締切	10月16日(水) 17時 必着
	抽選会	10月21日(月) 17時 本部抽選
	原稿・番組進行表提出締切	10月28日(月) 14時
	運営委員会・生徒代表者会	10月28日(月) 14時
	会場前日準備(専門部)	11月 3日(日) 14時(沖水)→15時(会場)
	番組作品提出締切	11月 4日(月)
	県高総文祭総合開会式	11月 8日(金)
	合同練習会①	11月 9日(土)
	学校参加参加申込データ締切(県内)	11月11日(月)
	共通参加申込書(共通様式1)	11月11日(月)
	エントリーデータ締切(県内)	11月18日(月)
	九州大会提出物締切(県内)	11月30日(土)
	九州大会提出物締切(福岡)	12月 4日(水)
	合同練習会②	12月 7日(土)
	九州大会(福岡)	12月13日(金)～15日(日)

※沖縄県高等学校総合文化祭放送部門と併催のため、県高総文祭の日程等は高文連事務局が所管する。

11 実施要項 別紙

12 その他

第49回全国高等学校総合文化祭 香川大会 の参加推薦

アナウンス部門	九州大会アナウンス部門上位3名
朗読部門	九州大会朗読部門上位3名
オーディオメッセージ部門(AM)・	九州大会ラジオ番組部門上位1校
ビデオメッセージ部門(VM)・	九州大会テレビ番組部門上位2校

※アナウンス部門、朗読部門は少なくとも1人は1年生を推薦する。

※個人部門の推薦は、同一校から各部門2名まで、両部門合わせて3名までを上限とする。その場合、両部門を通じて賞の上位3名までを推薦する。また、賞が同等か、入賞でない場合は高総文祭未参加の者を推薦する。

※番組部門は1校1作品まで推薦する。ただし、同じ学校の中で活動を別にする2つの部活の作品の場合はその限りではない。

※同一校が両部門に入った場合、賞の上位の部門を推薦する。賞が同等か、入賞でない場合はビデオメッセージ部門を推薦する。

(2010.09改正)

※連絡先 県高文連放送専門部事務局 當間 長 Tel : 098-994-3483 mail : hoso@as.open.ed.jp

第48回沖縄県高等学校総合文化祭放送部門
第46回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会沖縄県大会
実 施 要 項

1. 目 的 : 現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望を持つ人間としての成長をめざし、あわせて、九州地区における校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる
2. 日 時 : 令和6年11月5日(火)・6日(水)
受 付 9:10 開 会 10:00
3. 場 所 : 沖縄県男女共同参画センターていえる
〒900-0036 沖縄県那覇市西3-11-1
※会場には問い合わせなどをしないでください。
4. 主 催 : 沖縄県高等学校文化連盟 NHK沖縄放送局
共 催 : 沖縄県教育委員会
後 援 : 沖縄市教育委員会 那覇市教育委員会 浦添市教育委員会 うるま市教育委員会
糸満市教育委員会 嘉手納町教育委員会 沖縄県高等学校PTA連合会
琉球新報社 沖縄タイムス社
琉球放送株式会社 沖縄テレビ株式会社 琉球朝日放送株式会社
沖縄ケーブルネットワーク株式会社 株式会社ラジオ沖縄 株式会社エフエム沖縄
主 管 : 沖縄県高等学校文化連盟放送専門部
5. 部 門 : (1) アナウンス (2) 朗読 (3) ラジオ番組 (4) テレビ番組 (5) 短編動画祭
6. 参加条件 : (1) 令和6年10月現在、沖縄県高等学校文化連盟に加盟している高等学校と特別支援学校の高等部に在学する生徒およびその作品であること。ただし最終学年を除く。
(2) アナウンス、朗読の部門は1校から各10名以内とする。ただし、第71回NHK杯全国高校放送コンテスト沖縄県大会の決勝進出者はその制限枠に含めない。
(3) ラジオ番組、テレビ番組部門、短編動画祭は1校から各1作品のみとする。
7. 参加要領 : 「第46回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会福岡大会実施要項」に準ずる。
(1) 別紙『参加資格、各部門の課題・参加規定、短編動画祭について』を参照のこと。
(2) 沖縄大会実施要項については、沖縄県高文連放送専門部のHP上にも掲載予定。
8. 申込〆切 : 10月16日(水) 17時 必着
(1) 様式データ(Excel)での申込をお願いします。どうしても様式データでの申し込みが難しい場合は事務局までお問い合わせください。※アナ・朗で参加者が5名を超える場合はお問合せください。
(2) 放送専門部のHPから参加申込様式(Excel)をダウンロードして入力後、メールで放送専門部事務局まで送信してください。Teamsにはアップしないでください。
(3) 参加費も同日までに必ず振り込んで下さい。
(4) メールの場合は仮申し込みです。10月28日(月) ※運営委員会までに押印した正式用紙を事務局に提出してください。
(5) 通信障害等で申込書が不達の場合、参加費の振込が確認できた場合のみ申込を受理します。
(6) 一度申し込んだ作品名(朗読)及びタイトル(番組)は変更できません。
9. 抽選会 : 事務局抽選10月21日(月) 17時～
※大会事務局による抽選を行い、各校のエントリー番号をメールにてお知らせします。
10. 運営委員会・生徒代表者会 : 10月28日(月) 14時 沖縄水産高等学校視聴覚室
※離島以外の参加校の代表生徒(1人)および顧問は必ず参加してください。

11. 必要書類提出：

- (1) アナウンス・朗読：原稿 ※様式1-1、1-2
- (2) ラジオ・テレビ：番組進行表等 ※様式3-1～3-5に該当するもの
- (3) 短編動画祭：番組進行表 ※様式3-1のみ

10月28日(月) 14時までに沖縄水産高等学校 必着 ※期限厳守のこと

アナウンス・朗読の原稿は **11部**、ラジオ・テレビの番組進行表等は **6部**、短編動画祭の番組進行表は **2部**

※様式は、県高文連放送専門部HPからダウンロードして、最新版を使用してください。

※様式のHP掲載は、9月中旬を予定しています。

※提出期限が守れなかった場合、棄権とみなします。

※原稿・番組進行表の様式は規定を厳守してください。規定外は受理しない場合もあります。

※著作権処理等は確実に行ってください。

12. 作品データ提出：

- (1) ラジオ番組・テレビ番組部門・短編動画祭部門は、作品データを提出してください。

※提出締切 11月4日(月)

- (2) 作品データはTeamsの【46九コン沖縄県大会】の各フォルダへ提出してください。

※チームコード 68d9zuu ※生徒は追加しないようにしてください。

13. 参加費：アナウンス部門・朗読部門 …………… 1名 2,000 円

ラジオ番組部門・テレビ番組部門 …………… 1作品 2,000 円

短編動画祭 …………… 1作品 500 円

※参加費は下記の銀行口座に10月16日(水)までに振り込んでください。

※振込依頼人は「学校名」をお願いします。「オキナワケンリツ」は不要です。

※令和5年度から銀行口座が変更になりました。ご注意ください。 琉球銀行→沖縄銀行

振込先 (銀行名) 沖縄銀行 内間支店 (口座番号) 1934023
(口座名義) 沖縄県高等学校文化連盟放送専門部

14. 参加申込先：沖縄県高等学校文化連盟放送専門部事務局

〒901-0305 糸満市西崎1-1-1 沖縄水産高等学校内 高文連放送専門部 當間 長 宛

Tel 098-994-3483 Fax 098-992-5920

[県高文連放送専門部HP・申込様式ダウンロード先] URL <http://www.hoso-as.open.ed.jp>

[申込・問い合わせ] Mail hoso@as.open.ed.jp

※ お問い合わせはできるだけメールにてお願いいたします。

15. 表彰：アナウンス・朗読 最優秀賞1 優秀賞7 優良賞4～6

ラジオ・テレビ番組 最優秀賞1 優秀賞3 優良賞3

短編動画祭 最優秀賞1 優秀賞2 優良賞1～

16. 推薦：九州大会への派遣推薦は各部門とも、最優秀賞・優秀賞を受賞した生徒・作品とする。

※短編動画祭を除く

九州高校放送コンテスト沖縄県大会における個人情報の取り扱いについて

当コンテストで収集した個人情報については、コンテスト期間中における様々な発表物および大会終了後の報道・Webページへの掲載、県高文連等への報告物製作における使用以外に使用することはありません。

参加資格、各部門の課題・参加規定、短編動画祭について

※必ず、内容を確認してください。

1. 参加資格

- (1) 開催年の 10 月現在、沖縄県高等学校文化連盟加盟校に在学する生徒（ただし高等学校最終学年及びそれに該当する学年を除く）。また、以上の生徒が制作した作品に限る。
- (2) アナウンス、朗読部門への参加は 1 名 1 部門とする。
- (3) 他のコンテストに出品した作品は、本大会には参加できない。また、本大会に出品した作品を、他のコンテスト等へ出品することはできない。

2. 各部門の課題・参加規定

(1) アナウンス部門

- ① 自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。
- ② エントリー番号、氏名を含め、1 分 10 秒以上、1 分 30 秒以内でアナウンスする。
※学校名は読まず、エントリー番号の後にすぐ氏名を読む。
- ③ 審査基準

(A) 校内放送に使用できる内容であること

(B) 審査の視点

◆内容

(ア) 素材の選び方は適当であるか。

(イ) 文章表現は適当であるか。

◆アナウンスの技術

(ア) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

・歌い上げ・作り声など、不自然なアナウンスは高く評価しない。

(イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができているか。

・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション

(ウ) 間（ポーズ）は適切か。

・テンポ ・ポーズ

(C) 100 点法で総合的に採点する。

(2) 朗読部門

- ① 次の指定課題 4 作品から 1 作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

作品番号	1	2	3	4
書名	或る「小倉日記」伝	読書の森で寝転んで	コンビニ兄弟	車輪の下
著者名 (訳者名)	松本 清張	葉室 麟	町田 そのこ	ヘルマン・ヘッセ (実吉 捷郎)
出版社	新潮文庫	文春文庫	新潮文庫	岩波文庫

- ② エントリー番号、氏名、作者名、作品名を含め、1 分 30 秒以上、2 分 00 秒以内で朗読する。

※学校名は読まず、エントリー番号に続けて、氏名・作者名・作品名を読む。

※抽出は文頭から開始し、文末で終了すること。一文途中での開始や終了は「改変したもの」とみなす。

※本文中の（ ）内は省略してもよい。

※作品番号 1 については、作品名として選んだ短編名を読む。

※作品番号 4 の著者名は「ヘルマン ヘッセ」と読むこと。

③ 審査基準

(A) 審査の視点

◆内容

- (ア) 作品の選定は適当であるか。
- (イ) 朗読として適切な部分を抽出しているか。

◆朗読の技術

- (ア) 自然な発声で、場面や心情が聞き手に伝わるように朗読しているか。
 - ・発声 ・発音 ・マイクの使い方
 - ・演劇調など、過度に演出されているものは評価しない。
- (イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができていないか。
 - ・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション
- (ウ) 間（ポーズ）は適切か。
 - ・テンポ ・ポーズ

(B) 100 点法で総合的に採点する。

(3) アナウンス部門・朗読部門に共通する事項

- ① 原稿11部を10月28日14時までに県大会事務局へ提出する。
- ② 規定の用紙（様式1-1、1-2）を使用し、袋とじ（仕上りA5判）とする。第1頁を表紙とし、本文は第2頁以降に記入する。表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶす。アナウンスは「青」、朗読は「赤」とする。

(4) ラジオ番組部門

- ① 作品は、6分30秒以上、7分00秒以内とする。
- ② 作品の最後に「制作は〇〇高校放送部（委員会）でした」とクレジットコールを入れる。
- ③ クレジットコールには、BGM・SEなど他の音声を重ねてはいけない。
- ④ 始めに2秒のブランク（無音）を入れる。
- ⑤ 計時は、最初の音からクレジットコールの終わりまでとする。
- ⑥ 作品は、指定された様式に「学校名」「作品名」を入れた静止画を張り付けた動画mp4形式とする。
- ⑦ 番組進行表の表紙上部の○枠は「赤」で塗りつぶす。
- ⑧ 作品データは11月4日までに【46 九コン沖縄県大会】の指定フォルダにアップロードする。

(5) テレビ番組部門

- ① 作品は、7分30秒以上、8分00秒以内とする。
- ② アスペクト比は、16:9（ワイド）とする。
- ③ テレビ局等の第三者が撮影した素材を主とする作品は、失格とする。
- ④ 作品の前後5秒間に、規定のテストパターン（様式2）を入れる。テストパターンは、大会ホームページよりダウンロードして使用する。
- ⑤ 計時は、テストパターン（カラーバー）を除いた本編部分について行う。
- ⑥ 作品はMpeg4/H.264AVCのデータ形式とする。なお、解像度は1080Pまで、作品データの容量は最大1GB程度とする。
- ⑦ 番組進行表の表紙上部の○枠は「青」で塗りつぶす。
- ⑧ 作品データは11月4日までに【46 九コン沖縄県大会】の指定フォルダにアップロードする。

(6) ラジオ番組部門・テレビ番組部門に共通する事項

- ① 高校生活に素材を求めた作品、あるいは高校生活と地域社会とのかかわりを考えた作品で、高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。ドラマ調の場合、出演者は自校生徒、かつ「1. **参加資格**」の条件を全て満たす者のみに限る。

② 審査基準

A) 校内放送に使用できる内容であること。

B) 審査の視点

◆テーマ（伝えたい内容）

高校生ならではの視点で、高校生を取り巻く環境の中からテーマを設定し、それを番組の中で効果的に表現しているか。

◆制作技術

- | | | | |
|------------|----------------|--------------|--------------|
| (ア) メディア選択 | (イ) 制作方法 | (ウ) 取材の方法や努力 | (エ) 企画・構成 |
| (オ) 演出・編集 | (カ) 音声や効果音の使い方 | (キ) 内容伝達力 | (ク) 番組進行表の作成 |

C) 100 点法で総合的に採点する。

- ③ 作品のタイトルは、副題も含めて15文字以内を厳守する。

※作品名が英数字のみの場合は、半角文字で最大 30 文字（スペース含む）までとする。

- ④ 番組進行表は、「**様式規定**」で 6 部作成し、10 月 28 日 14 時までに県大会事務局へ提出する。
 - 1 頁（様式 3-1）学校名・作品名・時間・制作意図（200 字程度）・スタッフ／キャスト（学年）
 - 2 頁（様式 3-2）必要枚数を綴じ合わせた CUE シート
 - 3 頁（様式 3-3）使用著作物一覧※必要に応じ、音源使用許諾（様式 3-4）・取材許諾・著作物提供許諾（様式 3-5）を添付する。
※必要に応じ、著作権処理確認資料（右上に著作物番号を朱書きする）を添付する。
- ⑤ 作品の中で用いる音楽・絵画・写真等の著作権を伴う著作物については、著作権・著作隣接権の処理を本大会開始までに確実に済ませておく。特に音楽は、自作自演もしくは著作権フリーの楽曲を用いることが望ましい。著作権を伴う著作物については、一覧を番組進行表の末尾に添付する。
- ⑥ 著作権フリー素材とインターネット上の素材の使用については、NHK 杯番組部門制作関連資料で定めたものと同じとする。
- ⑦ JASRAC への手続きと支払いは出場校が行い、関係書類のコピーを番組進行表の末尾に添付する
- ⑧ 参加作品の著作権は、制作者（応募した学校）に帰属する。
- ⑨ 著作物使用等の許諾に関する詳細については、NHK 杯要項 p17 と NHK 杯番組部門関連資料の注意事項に準ずる。
- ⑩ 様式等については、本大会規定のものを使用する。

3. 短編動画祭について

(1) 【短編動画祭】部門新設の経緯

九州高校高校放送コンテストでは、番組部門としてラジオ番組部門とテレビ番組部門があり、一定のエントリー数を維持してはいるが減少傾向にあるといえる。その理由としては、近年の放送コンテストでは著作権処理や提出書類の作成など、作品制作以外の部分での作業が煩雑になり、生徒の制作作業や顧問による指導及び手続きの確認など、対応が難しい状況があるためと考えられる。

生徒・顧問にとっても気軽にエントリーできる部門を新設し、気軽にコンテストに参加してもらうことで、参加校が増えることによるコンテストの活性化につなげたいと考え第 45 回大会から部門を新設し、部門名を【短編動画祭】とした。

(2) 応募作品について

- ① 作品は、3 分 00 秒以内とする。テーマ等は特に設けない。
- ② 作品は mp4 形式を推奨するが、規定は特に設けない。
- ③ 大会会場での視聴のみとするため、著作権処理等は行わなくてもよい。
- ④ 第 46 回九州高校放送コンテスト沖縄県大会事務局が適切でないと判断した場合、失格とする。
※「公序良俗に反しているもの」「第三者を誹謗中傷したり、プライバシーを侵害するもの」「法令等に違反していたり、犯罪行為に結びつくもの」「本コンテストの運営を妨げる内容のもの」など。
- ⑤ 作品データは 11 月 4 日までに【46 九コン沖縄県大会】の指定フォルダにアップロードする。

(3) 審査と表彰

- ① 審査は第 46 回九州高校放送コンテスト沖縄県大会に参加している生徒たちが行う。
- ② 大会参加校は 1 校につき 2 票を持ち、好きな作品に投票する。
- ③ 得票数に応じて賞を決定する。ただし、最優秀賞・優秀賞とも九州大会への派遣推薦はしない。
- ④ 全ての作品に制作奨励賞を贈る。
- ⑤ 作品のタイトルは、副題も含めて 15 文字以内を厳守する。
※作品名が英数字のみの場合は、半角文字で最大 30 文字（スペース含む）までとする。
- ⑥ 番組進行表は、「**様式規定**」で 2 部作成し、10 月 28 日 14 時までに県大会事務局へ提出する。
 - 1 頁（様式 3-1）学校名・作品名・時間・制作意図（200 字程度）・代表生徒名

日 程

第 1 日目

行 事	時 間	備 考
会場作成	9 : 0 0 ~ 9 : 4 0	ホール・各会場
受付	9 : 1 0 ~ 9 : 5 0	ロビー
審査員打合せ(全部門)	9 : 3 0 ~ 1 0 : 0 0	3階 創作室
ホール開場	9 : 4 0	
開会式・諸連絡	1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 2 0	ホール
朗読部門 A 予選	1 0 : 4 0 ~ 1 3 : 0 0	3階 研修室 1
朗読部門 B 予選	1 0 : 4 0 ~ 1 3 : 0 0	2階 会議室1/2/3
アナウンス部門予選	1 0 : 4 0 ~ 1 3 : 0 0	ホール
ラジオ番組部門決勝(審査)	1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 3 0	4階 研修室 3
テレビ番組部門決勝(審査)	1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 3 0	3階 研修室 2
番組部門審査会議	1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 0 0	各会場
朗読部門 A・B 審査会議	1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0	3階 創作室
朗読部門決勝原稿抜取	1 4 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0	
アナウンス部門審査会議	1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0	
アナウンス部門決勝原稿抜取	1 4 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0	
番組作品観覧会場作成	1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 2 0	ホール
番組作品観覧	1 3 : 2 0 ~ 1 6 : 0 0	
諸連絡	1 6 : 2 0 ~ 1 6 : 3 0	

第 2 日目

行 事	時 間	備 考
会場作成	9 : 0 0 ~ 9 : 4 0	ホール・各会場
受付	9 : 1 0 ~ 9 : 5 0	ロビー
ホール開場	9 : 1 0	
諸連絡	9 : 2 0 ~	ホール
アナウンス部門・朗読部門 決勝進出者発表	9 : 2 0 ~ 9 : 3 0	ホール
決勝進出者受付	9 : 2 0 ~ 9 : 5 0	ロビー
審査員打合せ (アナウンス部門・朗読部門)	9 : 5 0 ~ 1 0 : 2 0	3階 研修室 1
アナウンス決勝	1 0 : 3 0 ~ 1 1 : 1 0	ホール
朗読決勝	1 1 : 2 0 ~ 1 2 : 2 0	
短編動画祭	1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 0 0	
審査会議 (アナウンス・朗読)	1 3 : 1 0 ~ 1 3 : 4 0	3階 研修室 1
	1 3 : 4 0 ~ 1 4 : 1 0	
番組部門審査結果発表 並びに最優秀作品紹介	1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0	ホール
講評	1 4 : 3 0 ~ 1 5 : 1 0	
表彰・閉会式	1 5 : 1 0 ~ 1 5 : 4 0	
入賞者写真撮影	1 5 : 4 0 ~ 1 5 : 5 0	
清掃・片付け	1 5 : 5 0 ~ 1 6 : 0 0	ホール・その他
九州大会出場者説明会	1 6 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0	3階 研修室 1

★ 2 日間とも進行は早くなる可能性があります。

運 営 委 員 係 分 担 表

※県大会の運営は、顧問の先生方全員で担当します。
申込書の希望運営係欄に希望する係名を記入してください。

第 1 日 目

係分担名		運 営 委 員 名	係 分 担 内 容	生徒係
総務	総 務	◎當 間 長(沖 水)	(前日まで)	
	〃	賀 数 基 市(那覇国)	運営全般に関する事項、予算・会計に関する事項	
会計	金 城 夕 貴(球 陽)		プログラムの作成・保管、台本仕分け・保管	
	喜 納 信 克(陽 明)		審査票等の準備、賞状・トロフィーの準備	
庶務	会 計		文具・器具の準備、表示類揮毫の世話と保管	
	庶 務		式典進行(シナリオ)作成、旅行社との渉外	
〃	〃		派遣費補助申請書	
	〃		(当日)	
受付	受 付	◎	運営全般に関する事項、予算・会計に関する事項	6 人
	付		会場全体・進行全般の確認	
会場	全 体	◎	審査員の確認、記録(写真・VTR等)	参加者 全 員 (4 人)
	場		来賓応対、マスコミ取材、決勝進出者の集約	
式典	進 行	◎	受付場所設置、表示類貼りだし	2 人
	司 会		学校・部門別受付、プログラム配布(学校毎)、総合案内	
部門	ア ナ ウ ンス	◎	個人予選・番組決勝講評返却	計時(両) 各 2 人
	朗 読 A	◎	ホール会場設営・開会式場設営指揮	
朗読B	朗 読 B	◎	練習会場の設営・清掃指揮(フィットネスルーム)	ドア(両) 各 1 人
	朗 読 B	◎	式典表示類貼りだし・取替	
合計	朗 読 B	◎	全体会会場片付け指揮	誘導(ア) 1 人
	朗 読 B	◎	表示類の確認、マイク機器の調整、開会式・全体会進行	
合計	朗 読 B	◎	開会式・全体会司会指導	合計10人
	朗 読 B	◎	館内放送指導	
合計	朗 読 B	◎	部門会場の設営	合計10人
	朗 読 B	◎	表示類確認	
合計	朗 読 B	◎	マイク・機器の調整、審査員の誘導	合計10人
	朗 読 B	◎	計時係の指導・ ドアの開閉の指導(5人ごと)	
合計	朗 読 B	◎	原稿・審査用紙、筆記用具配布、原稿回収	合計10人
	朗 読 B	◎	審査票の回収	
合計	朗 読 B	◎	決勝進出者の報告(本部へ)	合計10人
	朗 読 B	◎	決勝進出者の原稿抜き取り	
合計	朗 読 B	◎	会場・機器の片付け指導	合計10人
	朗 読 B	◎		

係分担名		運 営 委 員 名	係 分 担 内 容	生徒係分担
部 門 責 任	ラジオ 番組	◎ () () () ()	部門会場の設営、表示類確認 マイク・機器の調整 審査員(NHK)の誘導、計時係の指導 各部門進行(審査員との調整)	観覧会場 司会1人 機器1人
	テレビ 番組	◎ () () () ()	台本・審査票の回収、番組部門入賞校の報告 会場・機器の片付け指導 作品と受付表の受け取り及び返却(本部にて) 審査に関する事項 ※番組部門観覧会場作成と運営	観覧会場 司会1人 機器1人
	視聴 会場	◎ ()	番組視聴会場作成、番組再生	司会1人 機器2人
審 査 査	審 査 渉 外	◎富 山 雄 功(沖 水) 長 浜 杉 子(糸 満)	審査員の依頼、審査員控え室の準備、審査基準の説明 審査全般に関する事項 審査員の応対・誘導、審査員に関する事項の補佐	
	集 計	◎ () ()	コンピュータによる審査結果の集計 各種帳票の印刷	
接 待		◎ () () ()	審査員・本部来賓の接待、飲物・菓子の準備 配達弁当の受取・支払い・仕分け・配布・回収 接待関係ゴミの処理	2人

第2日目

係分担名		運 営 委 員 名	係 分 担 内 容	生徒係分担
総 会 計 務 庶 務 〃	総 務	◎當 間 長(沖 水) 賀 数 基 市(那覇国) 金 城 夕 貴(球 陽) 喜 納 信 克(陽 明)	運営全般に関する事項、予算・会計に関する事項 審査票等の準備、賞状・トロフィーの準備、台本仕分・保管 プログラム保管、文具・器具の準備 表示類揮毫の保管、審査員の確認、審査員・来賓応対 式典進行(シナリオ)作成、会場全体・進行全般の確認 マスコミ取材、記録(写真・VTR等) 決勝進出者貼りだし、決勝エントリー受付・抽選 入賞者の集約、成績発表、入賞者一覧表作成(10部) 全国大会エントリー抽選・説明・旅行社との渉外	
	〃			
	会 計			
	庶 務			
受 付	受 付	◎ () () ()	受付準備、表示類貼りだし、部門別受付、総合案内 プログラム配布 決勝講評返却	3人

係分担名		運 営 委 員 名	係 分 担 内 容	生徒係分担
会 場	全 体	◎ () () ()	全体会場設営指揮、式典表示類貼りだし 舞台・マイク設置、アナウンス・朗読決勝表示類取替 閉会式場設営及び片付け指揮・入賞者写真撮影補助 番組部門最優秀作品紹介（部門責任者と連携）	4 人
	進 行	◎ ()	全体会・アナ朗決勝・優秀作品発表・閉会式・講評・表彰式進行	
式 典	司 会	()	全体会・閉会式・コンテストの司会指導・館内放送指導 トロフィー設置、表彰補助生徒指導表彰者の整列	2 人
	表 彰	()	表彰補佐指導	2 人
決 勝	決 勝	◎ () () () (個人予選運営委員 8 名)	表示類確認、会場の設営、マイク・機器の調整 審査員の誘導、計時係の指導、審査補佐 台本・審査票の配布・回収 決勝進出者の集合、及び誘導・進行 入賞者の報告、入賞者の整列指導	補助 2 人 計時 2 人
	短 編 動画祭 作 品 発 表	◎根 川 泰 斗(知 念) 松 川 奈津稀() () (番組部門運営委員)	短編動画祭会場の設営、マイク・機器の調整 計時係の指導、短編動画祭部門進行、審査集計、 表示類確認	計時 1 人 機器 1 人
審 査 査	審 査 渉 外	◎富 山 雄 功(沖 水) 長 浜 杉 子(糸 満)	審査員控え室の準備、審査基準の説明 審査全般に関する事項 審査員の応対、審査員に関する事項の補佐	
	集 計	◎ () () ()	コンピュータによる審査結果の集計 各種帳票の印刷	
接 待		◎ () () ()	湯茶・菓子の準備、器具の準備及び確認 審査員・本部来賓の接待、 弁当の配達確認・支払い・仕分け・配布	2 人

※運営委員は顧問の先生方全員にあたります。

第48回沖縄県高等学校総合文化祭

第46回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会 沖縄県大会

参 加 申 込 書

No

学校名				顧問氏名：	印
				顧問連絡先TEL：	
顧問氏名					
希望運営係	第1希望：			第2希望：	
個人部門	アナウンス部門			朗読部門	
	学年	氏 名 (フリガナ)		学年	氏 名 (フリガナ) 作品
特別枠					
番組制作部門	部 門	制作者代表氏名	学年	タ イ ト ル (フリガナ) ※15文字以内	
	ラジオ番組				
	テレビ番組				
	短編動画祭				
※作品データについて ラジオ番組・テレビ番組：mp4形式 短編動画祭：mp4推奨 で提出					
上記の生徒および作品の大会参加を認めます。 学 校 名 令和 6 年 月 日 学校長名 公印					

様式ダウンロード先：<http://www.hoso-as.open.ed.jp>

送信先：沖縄県高等学校文化連盟放送専門部事務局（沖縄水産高校内）

e-mail:hoso@as.open.ed.jp FAX:098-994-3483